

闘春

昨年、は職場から最先頭で青年部運動を支えて頂きありがとうございました。

収束の見通しが立たないコロナ禍の中で、日々奮闘してきた私たちの要求に応えなかった会社経営陣の姿勢を絶対に許してはならない。

評価制度は青年部員にとって「公平・公正」な制度にしていくため、エック機能の強化と相談して貰えるような青年部組織づくりが重要である。

それらの問題を解決するには組織の結束が第一である。

「安全最優先の職場風土」と「職場と仕事と生活」を守るため、何が問題なのか、どう行動していくのかを明確にし、青年部から運動を押し上げていこう。

そして、何よりも戦争のない平和な社会を守り続けよう。

日本貨物鉄道労働組合青年部
中央常任委員